

IJCAD Mechanical 2017

運用マニュアル

MechBuild 171020

2017/12/12 版

目次

1. 運用マニュアル	1
1. IJCAD Mechanical でできること	1
2. インストール時の注意点	2
IJCAD Mechanical の bit 数の選択について	2
インストールユーザー以外で使用する場合	3
3. IJCAD Mechanical 使用上の注意点	4
対応する図面形式について	4
対応する製図規格について	5
図面の保存形式について	6
起動時の新規テンプレートについて	7
Mechanical ストラクチャを含んだ図面について	7
4. IJCAD Mechanical の仕様	8
AutoCAD Mechanical と仕様の異なる機能	8
IJCAD Mechanical 独自のコマンド	11
2. 制限事項	12
1. IJCAD Mechanical の使用における制限事項	12
カスタム規格を含んだテンプレートの制限	12
パーツ一覧・パーツ参照の制限	13
断面図と詳細図の設定の制限	14
はめあいの機能制限	15

Mechanical 画層の機能制限.....	15
外部参照の変更を保存するときの制限	15
2. 互換性における制限事項	16
AM システム変数の互換性	16
オブジェクトプロパティに関する互換性	18
その他の互換性.....	19
3. コマンドの機能における制限事項	21
製図規格の設定における機能制限	21
作図関連のコマンドの機能制限.....	22
パーツ参照・部品表関連のコマンドの機能制限.....	23
4. IJCAD Mechanical 英語版の使用における制限事項	25
ライブラリの制限	25
3. 修正済の不具合	26

1. 運用マニュアル

1. IJCAD Mechanical でできること

IJCAD Mechanical は AutoCAD Mechanical との相互互換性を高い次元で実現した機械設計 CAD です。AutoCAD Mechanical で作成された Mechanical オブジェクトを、Mechanical ライクな操作感覚で、編集することが可能です。

記号をダブルクリックすると・・・

「IJCAD の場合」

ダイアログは表示されません

「IJCAD Mechanical の場合」

ダイアログが表示され編集を行うことができます

The diagram illustrates the process of editing a symbol in IJCAD Mechanical. It starts with a technical drawing of a part with a symbol circled in red. A callout box indicates that double-clicking the symbol leads to a dialog box. The diagram then shows two scenarios: 1) In IJCAD, double-clicking the symbol does not open a dialog. 2) In IJCAD Mechanical, double-clicking the symbol opens a detailed 'Symbol Edit' dialog box with various options and input fields for editing the symbol's properties.

2. インストール時の注意点

IJCAD Mechanical の bit 数の選択について

IJCAD Mechanical では、**OS の bit 数と同じ bit 数の IJCAD Mechanical** をご利用いただくことをおすすめしています。

なお、**IJCAD Mechanical においては 32bit 版と 64bit 版を同じマシンで使用することができません。**

IJCAD Mechanical の 32bit 版と 64bit 版では、設定ファイルを置く場所として、共通のレジストリと AppData 以下のフォルダを使用しています。

そのため 32bit 版と 64bit 版の IJCAD Mechanical を同じマシンにインストールすると、先にインストールしていた IJCAD Mechanical の bit 数の設定が上書きされ、使用することができなくなります。

32bit 版か 64bit 版のうち、どちらか片方だけを選択してご使用ください。

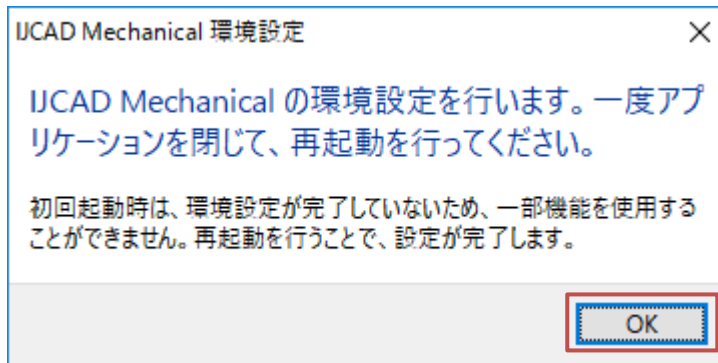
インストールユーザー以外で使用する場合

IJCAD Mechanical を、インストールしたユーザー アカウント以外で使用する場合は、IJCAD Mechanical を初回起動した後、IJCAD Mechanical の再起動が必要です。

これは、管理者権限またはユーザー権限に関わらず、IJCAD Mechanical をインストールしたユーザー アカウント以外で使用する場合すべてに当てはまります。使用するユーザー アカウントにて、以下の操作を行ってください。

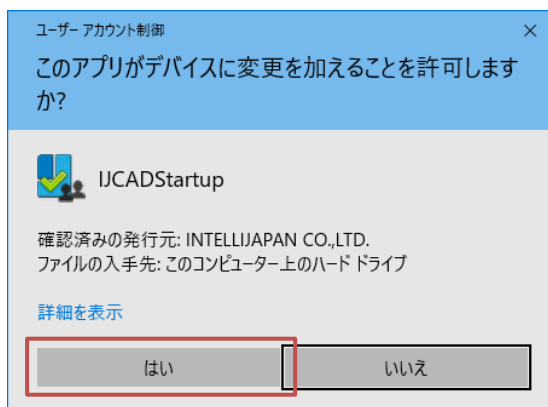
操作手順

1. IJCAD Mechanical を起動します。
2. 表示されたメッセージで、「OK」を押します。



「OK」を押すと、IJCAD Mechanical の環境設定を行うためのツールが実行されます。お使いのマシンの設定によっては、ユーザーアカウント制御ダイアログが表示されることがあります。

「はい」を押して、ツールを実行してください。



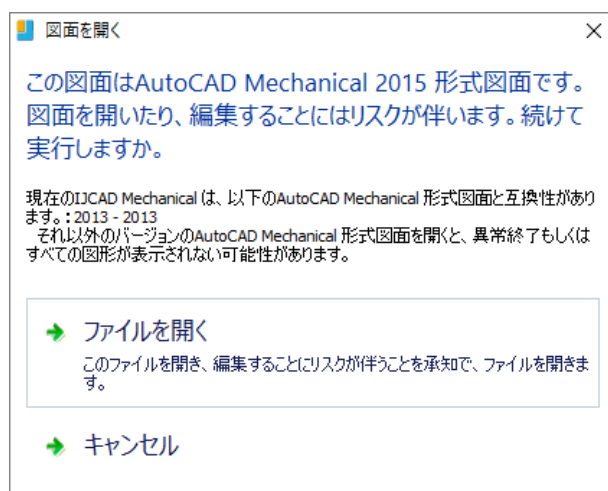
3. ツールの実行が完了すると、IJCAD Mechanical が起動します。
この時点では、まだ IJCAD Mechanical を使用することはできません。
4. 一度、IJCAD Mechanical を終了します。
5. 再度 IJCAD Mechanical を起動した後、お使いいただけるようになります。

3. IJCAD Mechanical 使用上の注意点

対応する図面形式について

現在の IJCAD Mechanical は、**AutoCAD Mechanical 2013 形式の図面とのみ互換性を保っています。**

そのため、既定では AutoCAD Mechanical 2013 形式以外の図面を開いた場合に、以下のような警告メッセージが表示されます。



警告メッセージが出ても、「ファイルを開く」を選択することで、図面を開くことは可能です。ただし、その場合は**互換性が保たれない可能性があります**ので、ご注意ください。

なお、以下のシステム変数を設定することで警告ダイアログの表示を制御することが可能です。

GMVCTRL	指定した形式以外の AutoCAD Mechanical 図面を開く時に、図面を開くかどうかを制御します。
GMVMAX	GMVCTRL システム変数で指定する形式の中で一番上位のバージョンを指定します。
GMVMIN	GMVCTRL システム変数で指定する形式の中で一番下位のバージョンを指定します。

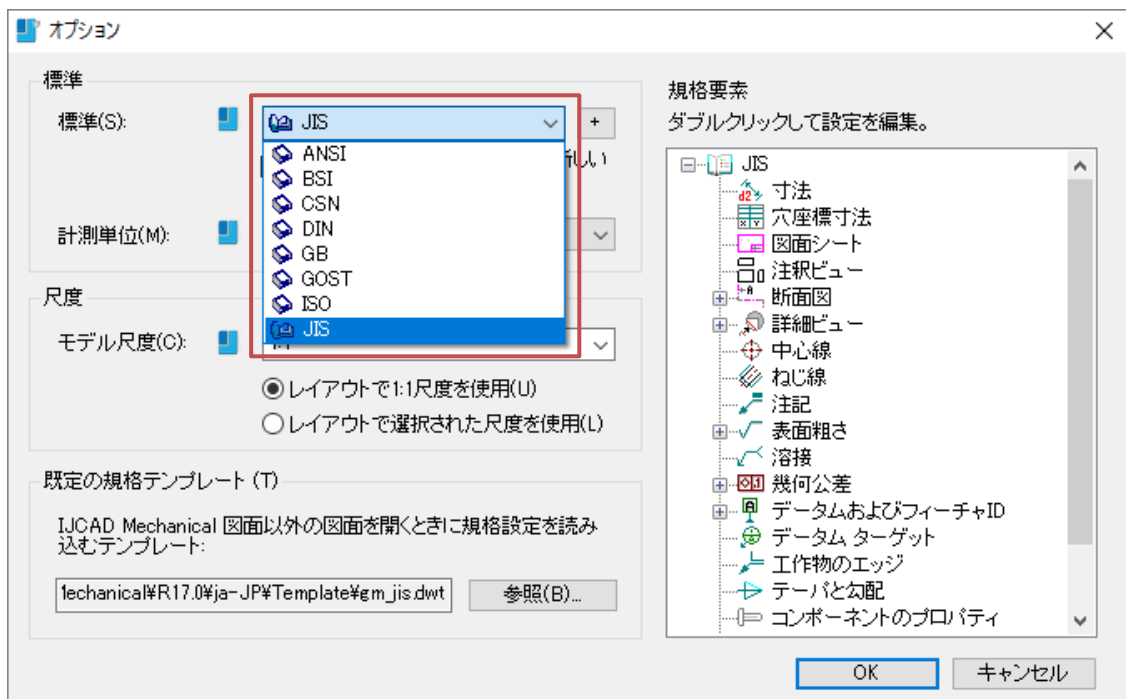
GMVMAX システム変数と GMVMIN システム変数の間のバージョンの図面を開く時は、警告が表示されません。

対応する製図規格について

IJCAD Mechanical では、[GMOPTIONS] コマンドから図面に適用される製図規格を設定することができます。

標準規格には **ANSI、BSI、CSN、DIN、GB、GOST、ISO、JIS** の規格が準備されています。

さらに、標準規格を元にしてユーザー独自のカスタム規格を新規作成することや、AutoCAD Mechanical ですでに作成したカスタム規格を IJCAD Mechanical で使用することが可能です。



ただし、標準規格においては **JIS 規格以外の規格に関して動作の確認が十分ではありません**ので、ご注意ください。

また、IJCAD Mechanical で新規作成したカスタム規格や、AutoCAD Mechanical で作成したカスタム規格においても、元の規格が JIS 規格以外の場合、動作の確認が十分ではありません。

図面の保存形式について

サポートされている図面形式

IJCAD Mechanical でサポートされている AutoCAD Mechanical 図面の形式は、**「AutoCAD Mechanical 2013 図面」のみ**となっています。

保存フォーマットについての一般的な注意点

IJCAD Mechanical で図面を保存するときは、できるかぎり**保存前の図面形式と同じ図面形式を選択して保存**してください。

たとえば、AutoCAD Mechanical 2013 形式の図面を保存するときは、AutoCAD Mechanical 2013 形式で保存してください。

AutoCAD Mechanical 2013 形式の図面を AutoCAD Mechanical 2010 形式で保存すると、互換性が崩れる可能性があります。

名前を付けて保存

保存時に開かれる [図面に名前を付けて保存] ダイアログ内にて、ファイルの種類を選ぶ際、AutoCAD Mechanical 2010 形式から AutoCAD Mechanical 2015 形式まで形式を選ぶことはできますが、IJCAD Mechanical では AutoCAD Mechanical 2013 形式のみサポート対象となっておりますのでご注意ください。

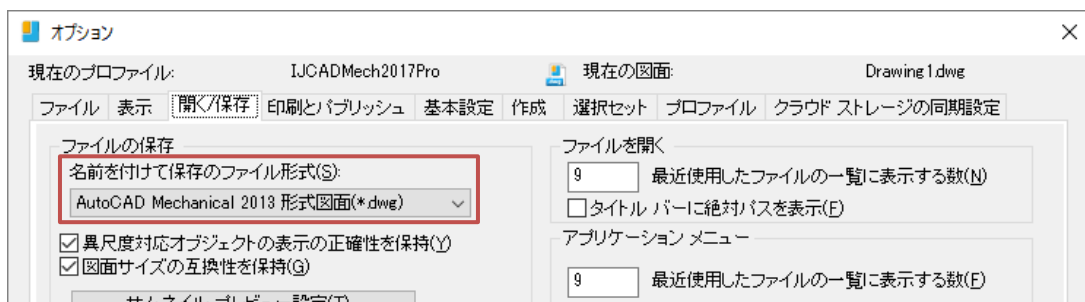
※デフォルトで「AutoCAD Mechanical 2013 図面」が指定されています

上書き保存・自動保存

IJCAD Mechanical で上書き保存や自動保存を行った場合、**[OPTIONS] コマンド > [開く/保存] タブ > 「名前を付けて保存のファイル形式」**で設定されている形式で保存されます。

「名前を付けて保存のファイル形式」の設定の既定は、**AutoCAD Mechanical 2013 形式**です。

AutoCAD Mechanical 2013 形式以外の図面をご利用の場合は、ご注意ください。



起動時の新規テンプレートについて

IJCAD Mechanical を起動したときに読み込まれる新規図面テンプレート（dwt ファイル）は、「**gcadiso.dwt**」です。この図面は「AutoCAD Mechanical 図面」ではなく、一般の dwg 図面であり、寸法スタイルなどの規格には ISO 規格が設定されています。

IJCAD Mechanical では AutoCAD Mechanical 図面でない dwg 図面を開いたとき、Mechanical 用の規格に JIS 規格が自動適用される仕様になっています。そのため、IJCAD Mechanical を起動した時に開かれる「gcadiso.dwt」には、一般 dwg の規格としては ISO 規格が適用されますが、Mechanical 用の規格としては JIS 規格が適用されるという規格の食い違いが生じます。

この状態で図面を書き進めると、後に混乱が生じる可能性がありますので、**IJCAD Mechanical を起動したときは [NEW] コマンドで「gm_jis.dwt」を開き直して、それを新規図面として使用する**ことをおすすめします。

「gm_jis.dwt」は、JIS 規格の AutoCAD Mechanical 2013 形式図面です。

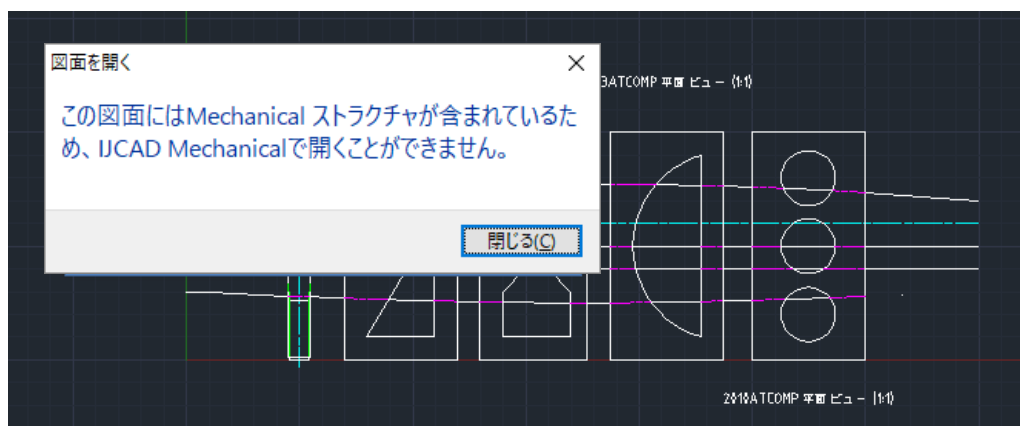
Mechanical ストラクチャを含んだ図面について

IJCAD Mechanical は、**Mechanical ストラクチャに対応していません**。

AutoCAD Mechanical で Mechanical ストラクチャを含んだ図面を作成した場合、その図面を IJCAD Mechanical で開くことができなくなります。

AutoCAD Mechanical の **[AMSHIDE] コマンドで作成された隠線処理オブジェクトも、Mechanical ストラクチャの一種**ですので、このオブジェクトが図面に含まれている場合、IJCAD Mechanical で開くことはできません。

ただし、IJCAD Mechanical の **[GMSHIDE] コマンドで作成された隠線処理オブジェクト**に対しては、このオブジェクトが図面に含まれていても IJCAD Mechanical で開くことができます。



4.IJCAD Mechanical の仕様

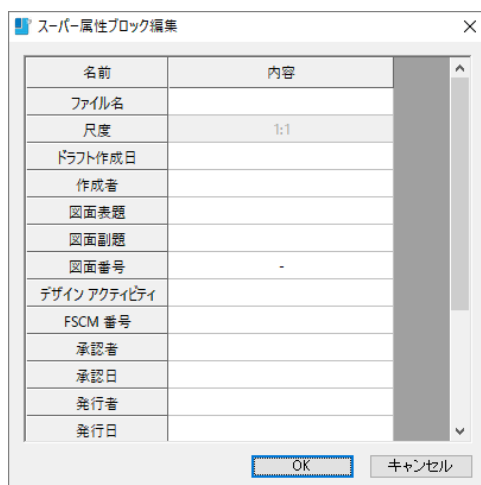
AutoCAD Mechanical と仕様の異なる機能

IJCAD Mechanical は AutoCAD Mechanical の互換製品ですが、一部 AutoCAD Mechanical と仕様の異なる機能があります。

図面枠挿入

[GMTITLE] コマンドで表題欄を作成した後、表題欄を編集するためにダブルクリックすると、[スーパースナップ属性ブロック編集] ダイアログが開かれます。

AutoCAD Mechanical とは異なる名前と見た目のダイアログですが、機能としては同等のものです。



部品ライブラリ

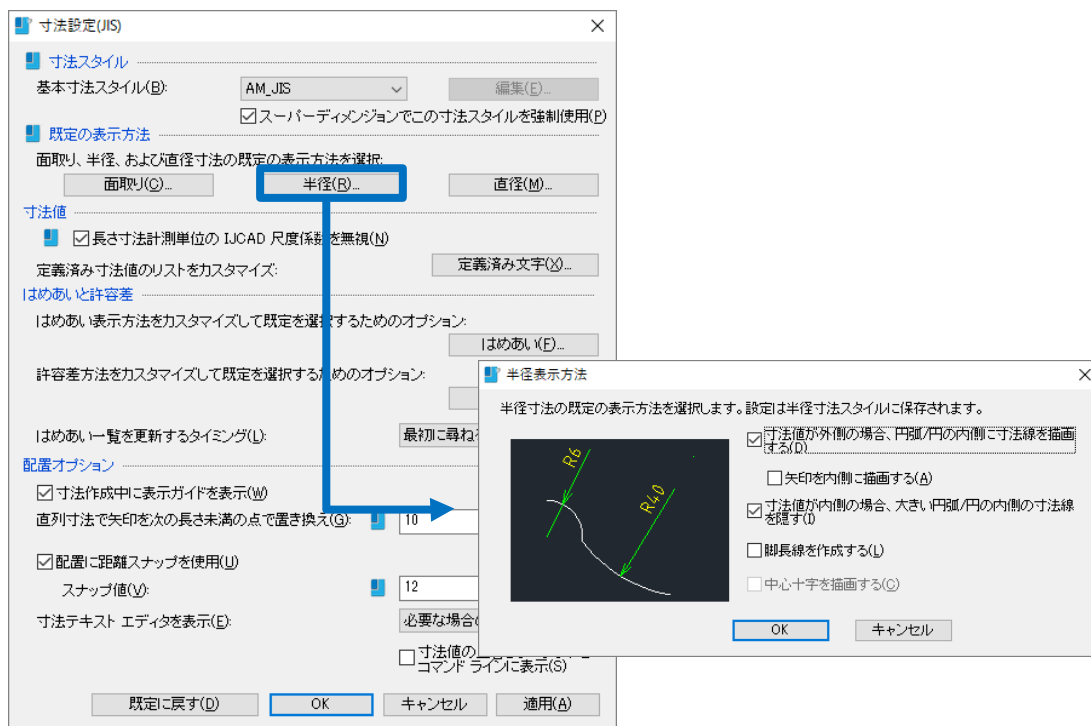
ライブラリで使用される「ライブラリ環境設定ファイル (*.glf)」が更新されるタイミングが、AutoCAD Mechanical と異なります。

AutoCAD Mechanical ではライブラリに変更を加えた時点で glf ファイルが自動更新されますが、IJCAD Mechanical ではライブラリに変更を加えた後、ライブラリのダイアログを閉じた時点で glf ファイルが更新されます。

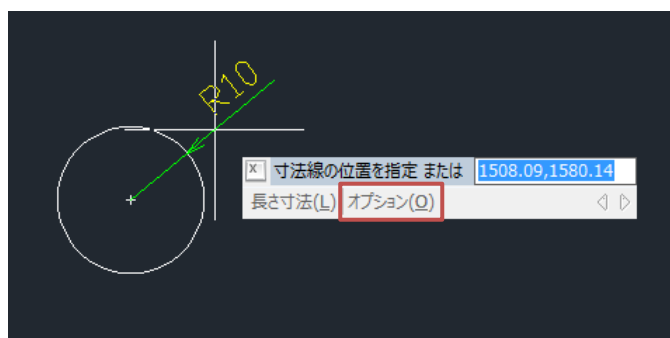
確実にお使い頂くために、**ライブラリ内でファイルの追加やオプションの変更を行った後は、一旦ダイアログを閉じてから、再度ライブラリ ダイアログを表示してください。**

Mechanical 標準設定 - 寸法設定

[寸法設定] ダイアログ内にある「半径(R)」より開かれる [半径表示方法] ダイアログにて、半径寸法の表示方法の設定を行うと、図面に元々存在していた半径寸法もすべて新しい表示設定に更新されます。

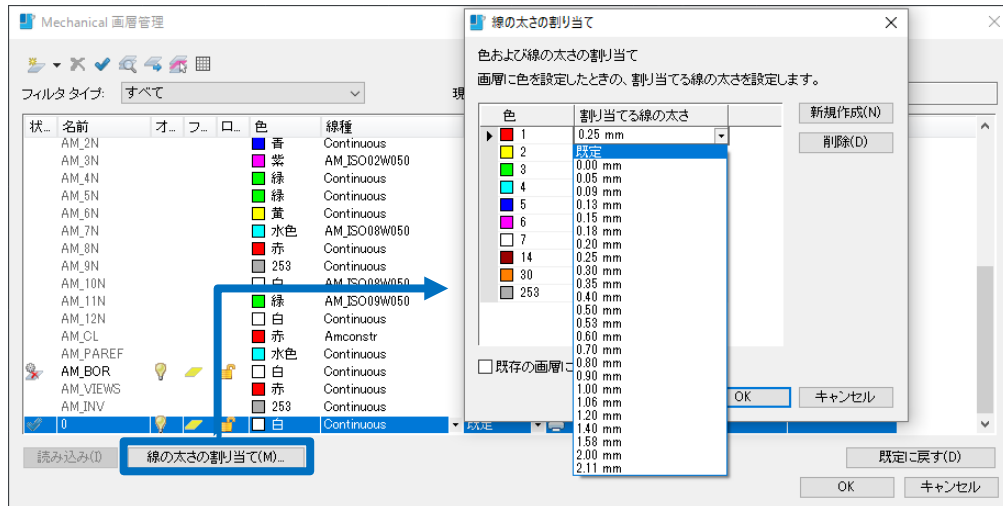


既存の半径寸法の表示方法に影響せずに、表示の設定をしたい場合は、**[GMPOWERDIM]** コマンドで半径寸法を作成する時に出る「オプション(O)」より設定してください。



Mechanical 画層管理

[Mechanical 画層管理] ダイアログの「線の太さの割り当て(M)」より開かれる [線の太さの割り当て] ダイアログにおいて、AutoCAD Mechanical では「割り当てする線の太さ」のドロップダウンの中に「ByLayer」があります。IJCAD Mechanical では、「ByLayer」はありません。

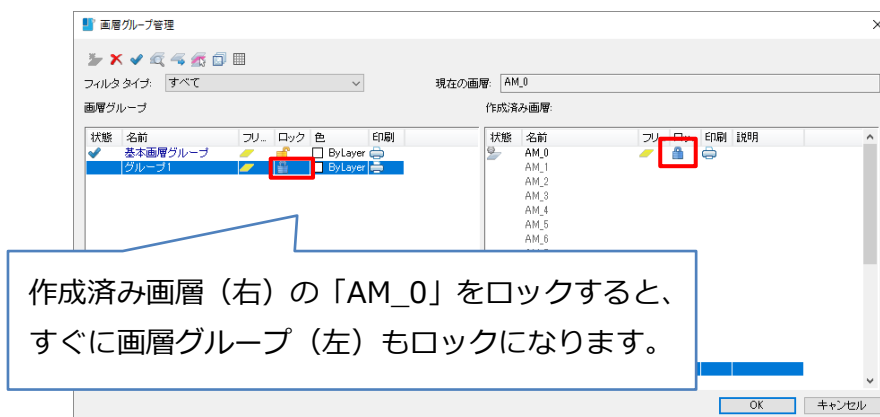


画層グループ管理

[画層グループ管理] ダイアログで、画層グループ内の「AM_0」画層をロックした時に画層グループにロックが反映されるタイミングが AutoCAD Mechanical と異なります。

AutoCAD Mechanical では、画層グループ内の「AM_0」画層をロックしても、ロック状態はすぐに画層グループに反映されません。

IJCAD Mechanical では、画層グループ内の「AM_0」画層をロックした時、ロック状態がすぐ画層グループに反映されます。



IJCAD Mechanical 独自のコマンド

IJ パーツ参照生成コマンド

[GMREFSET] コマンドは、ブロック内に配置された属性定義の情報を自動的に読み取り、その情報が反映されたパーツ参照を生成することができる IJCAD Mechanical のオリジナルコマンドです。

ブロック定義内に以下のダイナミックブロック用パラメータとアクションが設定されているとき、IJ パーツ参照をアタッチすることができます。

- 直線状 パラメータ
- 可視性 パラメータ
- ルックアップ パラメータ
- ストレッチ アクション
- ルックアップ アクション

さらに、ダイナミックブロックのストレッチや可視性の機能と連動させることで、変形後のダイナミックブロックの規格やサイズなどをパーツ一覧表に反映させることができます。反映させるためには **[GMREFUPD]** コマンドを使用します。

詳しくはヘルプをご参照ください。

また、IJ パーツ参照生成コマンドの使用例として、弊社のホームページ (<https://support.ijcad.jp/hc/ja/sections/200389645>) に、動画コンテンツへのリンクが貼られていますので、ご参照ください。

2. 制限事項

1. IJCAD Mechanical の使用における制限事項

カスタム規格を含んだテンプレートの制限

AutoCAD Mechanical 形式以外の図面を開いたとき、[GMOPTIONS] コマンドの「既定の規格テンプレート」オプションで指定されている Mechanical 用の dwt ファイルが適用されます。

この dwt ファイルの中に、デフォルトの規格（JIS 規格など）以外に作成されたカスタム規格が含まれる場合、そのカスタム規格は適用できないことが確認されています。すなわち、**AutoCAD Mechanical 形式以外の図面を開いたとき、テンプレートに設定されたカスタム規格は読み込まれません。**

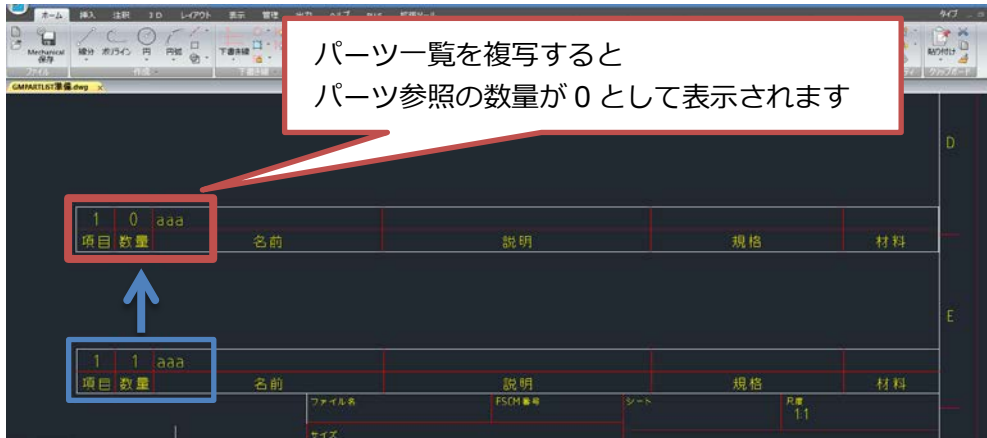
カスタム規格の設定されているテンプレート (dwt ファイル) で作図を始めたい場合は、以下の方法で実現が可能です。

- **[NEW] コマンドで dwt ファイルを指定する。**
- **テンプレート (dwt ファイル) のダブルクリックで、IJCAD Mechanical を起動する。***
 - ※ dwt ファイルの拡張子が IJCAD Mechanical と関連付けされている必要があります。

パーツ一覧・パーツ参照の制限

パーツ一覧のコピーの制限

- ・ パーツ一覧を [COPYCLIP] コマンド → [PASTECLIP] コマンドで複写すると、パーツ参照の数量が0で表示されます。

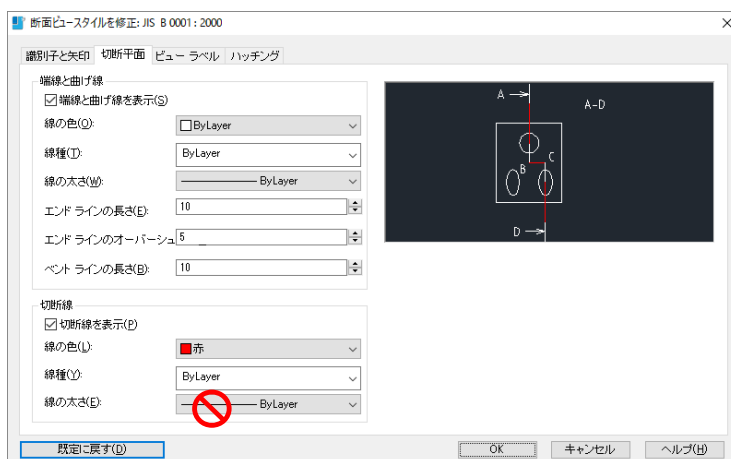


断面図と詳細図の設定の制限

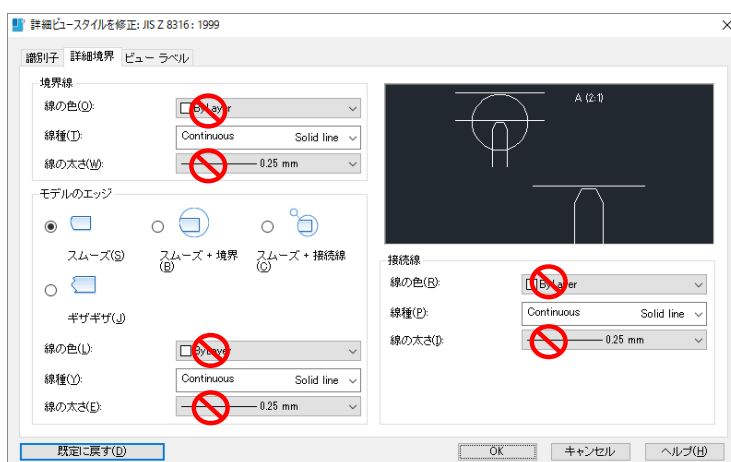
今回のバージョンでは、[GMOPTIONS] コマンドから設定できる規格の「断面図」と「詳細ビュー」内の一部のパラメータを、保存することができません。既にパラメータの設定されている図面を開いた場合も同様です。すべて規格の固定値に変更されます。

以下が、パラメータを保存できない項目です。

- ・ [断面図] > [切断平面] タブ



- ・ [詳細ビュー] > [詳細境界] タブ



この問題は、現在 IJCAD Mechanical が AutoCAD Mechanical 2015 との互換性を高めている過程であるために、一時的に起こっている問題です。今後、さらに AutoCAD Mechanical 2015 との互換性を高めていくため、只今開発中の項目となります。

はめあいの機能制限

IJCAD Mechanicalで作成される Mechanical 寸法のはめあいは、常用するはめあい、かつ 500mm 以内の寸法値に対して動作を確認しています。

それ以外のはめあいに関しては現在開発中です。

Mechanical 画層の機能制限

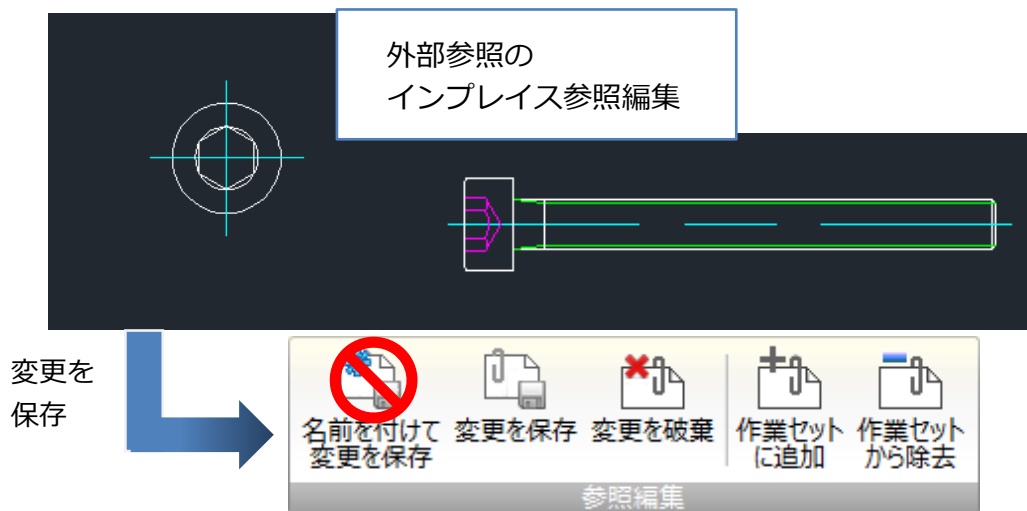
IJCAD Mechanical の画層は、IJCAD の画層機能を拡張した形で実装されています。Mechanical 画層に対して、IJCAD の画層関連コマンドを実行したときに一部不具合が起こる現象が確認されていますので、ご注意ください。

Mechanical 画層に対しては、Mechanical 画層関連コマンド（[GMLAYER] コマンド、[GMLAYERGROUP] コマンドなど）の方が相性が良いため、こちらを実行して画層の編集を行うことを推奨しています。

外部参照の変更を保存するときの制限

インプレース参照で外部参照を編集するときに、「名前を付けて変更を保存する」ボタンから変更を保存することができません。

インプレース参照編集で 外部参照を保存する場合は、「変更を保存」ボタンから保存してください。



2. 互換性における制限事項

AM システム変数の互換性

IJCAD Mechanical では AM システム変数を変更することができません(一部例外あり)。IJCAD Mechanical を起動した時、図面内の AM システム変数には IJCAD Mechanical 独自の値が充てられます。

AutoCAD Mechanical で作成した図面を IJCAD Mechanical で開いたときは、一部の AM システム変数のみ、AutoCAD Mechanical の値が反映されます。残りの AM システム変数には IJCAD Mechanical 独自の値が充てられます。

この時、IJCAD Mechanical で再度図面を保存し直しても、AutoCAD Mechanical で設定した AM システム変数の値が書き換えられることはありません。

AutoCAD Mechanical で設定した AM システム変数は、そのままの値で図面に保存されています。

互換している AM システム変数

- **AMCLOSHT**
オブジェクトを越えて書かれる中心線オーバーシュートの長さの値

反映されない AM システム変数

- **AMCLCM**
中心線の長い破線の長さの値
- **AMCLGAP**
中心線のギャップの値
- **AMCLPAR**
中心線のオーバーシュート線分の長さをパラメトリックにするかしないか
- **AMCR2SE**
十字中心線を作成するのに使用する線分の数
- **AMDIMLAYOUTOSNAP**
レイアウトにてビューポート ジオメトリに注釈を付けた時の、モデル空間エンティティとペーパー空間エンティティ間の仮想スナップ点に対するオブジェクトスナップのオン/オフ

- **AMDIMTOLOVERRIDERETAIN**
寸法スタイルの切り替えをする際、許容差オーバーライドを保持するかしないか
- **AMIPEEXITONENTER**
[Enter] キーを押したときの動作を変更 (次の行に移動するか、パワーディメンジョンのインプレイス エディタを終了するか)
- **AMLGCOLORMODE**
画層が属している画層グループの色により、画層の色を変更するかしないか
- **AMLINETHICK**
ねじ注釈を計算する(ISO・DIN 規格)時に使用する線分の太さの値
- **AMOFFSETLAYMODE**
AMOFFSET[オフセット]コマンドで作成したオブジェクトを現在の画層と元のオブジェクトと同じ画層のどちらに作成するかを設定
- **AMPOWERDIMEDITOR**
寸法値の編集に使用するエディタ
- **AMPROJTYPE**
直交投影ビューまたは補助投影ビュー用の図面ビューの投影法の設定
- **AMSYMSCALE**
モデル空間の図面のテキスト・記号の尺度
- **AMVANISH**
タップが穴の全長を延長しない場合の、ねじ穴のバニッシュ線のオン/オフ

オブジェクトプロパティに関する互換性

AutoCAD Mechanical 形式の図面には、規格ごとに設定されたオブジェクトプロパティ設定の情報が保存されています。

IJCAD Mechanical で作成できる Mechanical オブジェクトは、規格ごとに設定されたオブジェクトプロパティ設定の情報を、オブジェクトのパラメータとして読み込みます。その際、AutoCAD Mechanical 2013 形式以外の形式で保存された図面では、Mechanical オブジェクトが、規格ごとに設定されたオブジェクトプロパティ設定の情報を正しく読み込めない可能性があります。

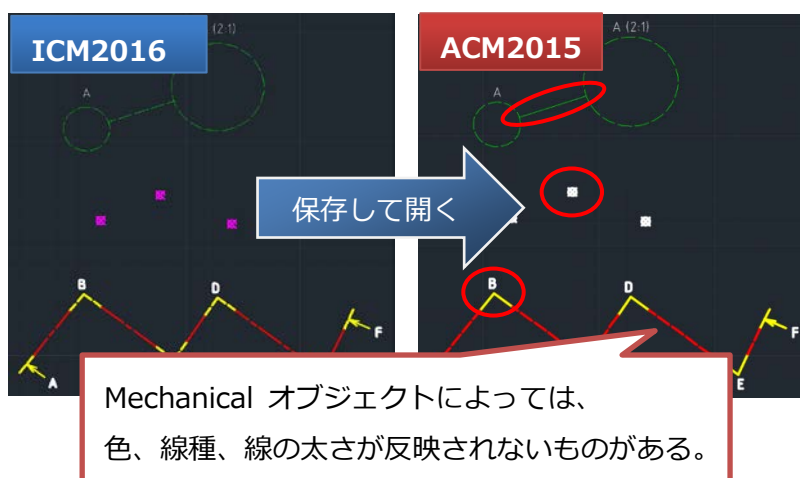
AutoCAD Mechanical で作成した図面を IJCAD Mechanical で使用する場合には、必ず AutoCAD Mechanical 上で AutoCAD Mechanical 2013 形式に保存してから使用してください。

AutoCAD Mechanical 2013 形式以外の形式については、動作保証対象外となりますので、ご注意ください。

また、逆に IJCAD Mechanical で作成した図面を AutoCAD Mechanical で使用する場合、オブジェクトプロパティ設定で定義した情報の通りに表示されない Mechanical オブジェクトが存在します。表示が正しくない場合、再度 AutoCAD Mechanical の [オブジェクトプロパティ設定] ダイアログから手動で Mechanical オブジェクトのパラメータを設定し直してください。

現在不具合が確認されている Mechanical オブジェクトは、以下の通りです。

- 詳細図の接続線に線種が反映されない。
- パーツ参照に色と線種が反映されない。
- 断面図の切断線と平面の線に色と線種と線の太さが反映されない。



その他の互換性

オブジェクトのコピーについて

IJCAD Mechanical にて [COPYCLIP] コマンドを使ってオブジェクトをコピーし、AutoCAD Mechanical に [PASTECLIP] コマンドで貼り付けを行うと、下記のようなメッセージが複数表示されます。

『警告： エンティティ タイプ ○○ は、環境設定されていない画層 □□ に割り当てられています!』

警告メッセージが表示されても、AutoCAD Mechanical では正しくオブジェクトとして認識されます。現在まで、この現象による派生的な問題は確認されていません。

矢印設定について

AutoCAD Mechanical で、各 Mechanical オブジェクト単位に矢印の形状を個別で設定している場合、その設定は正しく反映されないケースがあります。

はめあい一覧について

IJCAD Mechanical で作成したはめあい一覧オブジェクトは、AutoCAD Mechanical では**はめあい一覧として認識されません**。

Mechanical オブジェクトではなく、一般のブロック参照に変換されるため、はめあい一覧を更新することができません。AutoCAD Mechanical で図面を開いた後に再度はめあい一覧を作成し直せば、はめあい一覧を更新することが可能です。

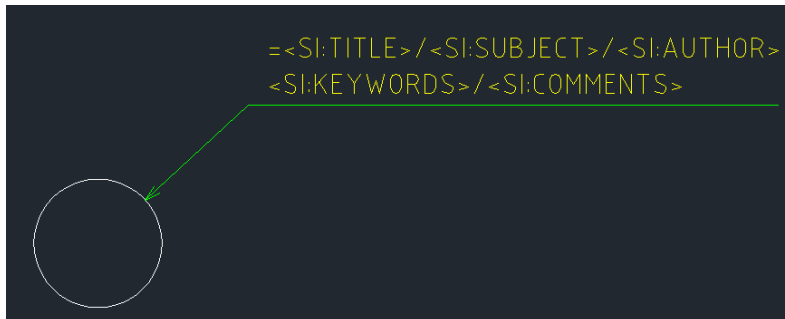
逆に、AutoCAD Mechanical で作成したはめあい一覧オブジェクトは、IJCAD Mechanical で正しくはめあい一覧として認識されます。

色設定について

AutoCAD Mechanical で、色パラメータを RGB 設定している場合、IJCAD Mechanical 上ではインデックスカラーにて一番近い色で表現されます (AutoCAD Mechanical に戻すと、元の RGB 設定にて表現されます)。

引出線注記について

AutoCAD Mechanical で、注記に変数を設定している場合、IJCAD Mechanical では正しく表示されません。変数の内容がそのまま表示されます。

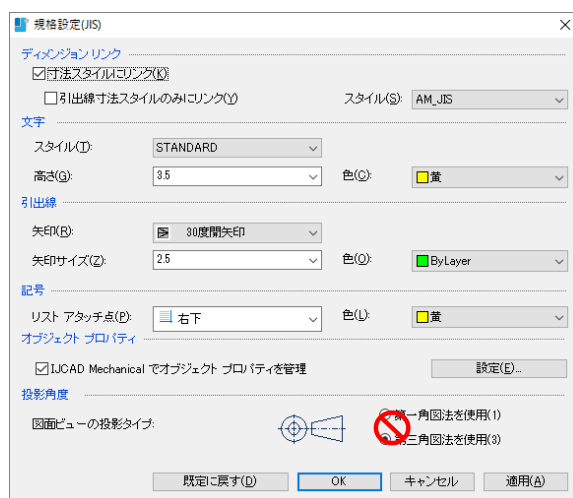


3. コマンドの機能における制限事項

製図規格の設定における機能制限

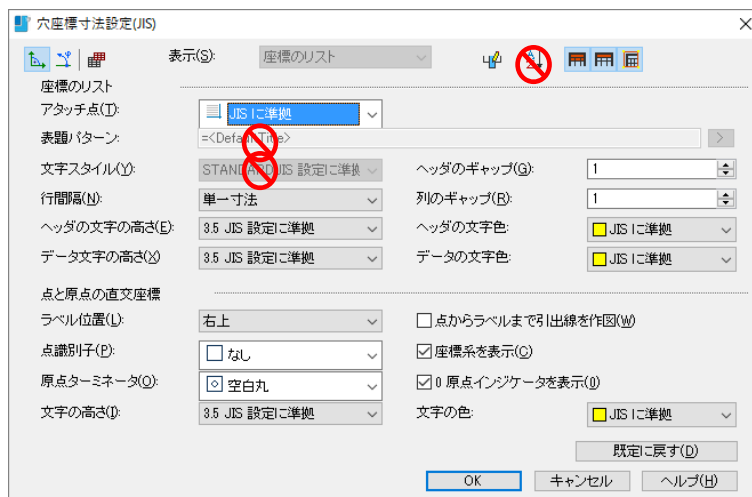
規格設定ダイアログ

- ・ オブジェクトプロパティは IJCAD Mechanical に含まれるオブジェクトのみに対応しています。
- ・ 投影角度設定に関連する機能が実装されていません。



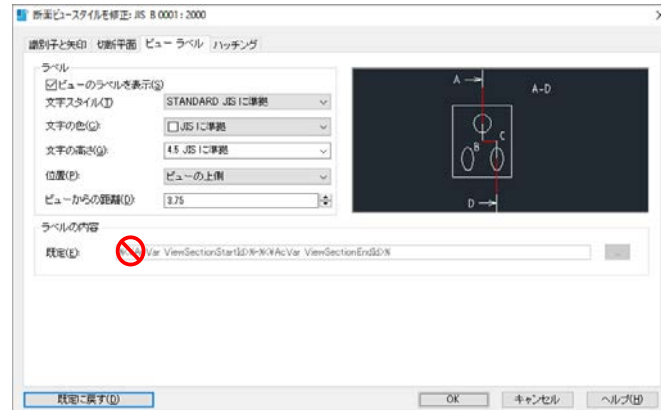
穴座標寸法ダイアログ

- ・ 並べ替え機能についての動作確認が十分ではありません。
- ・ 表題パターンのカスタマイズができません。
- ・ 文字スタイルのカスタマイズができません。

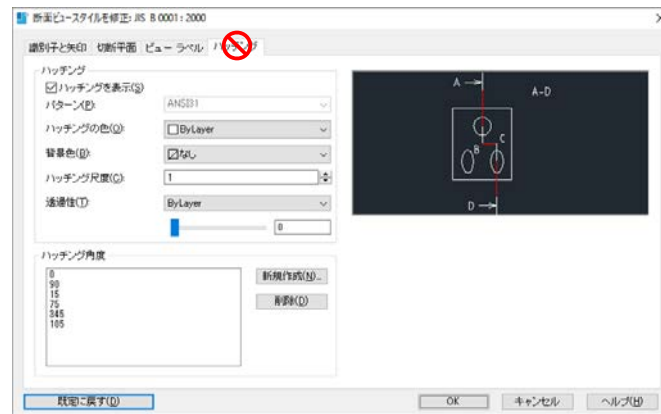


断面図ダイアログ

- ラベルの内容の既定がカスタマイズできません。



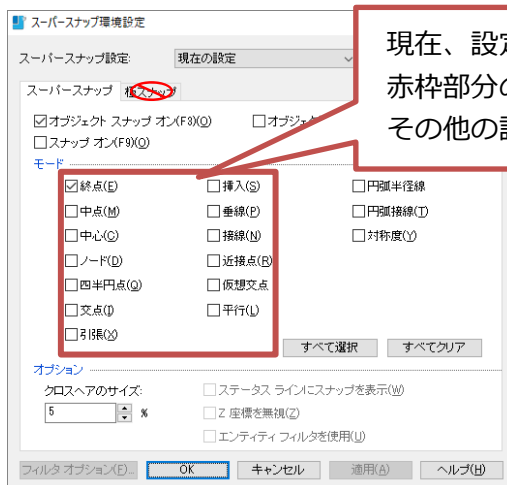
- ハッチングタブは現在未対応です。



作図関連のコマンドの機能制限

スーパースナップの機能制限

- スーパースナップの設定項目に制限があります。

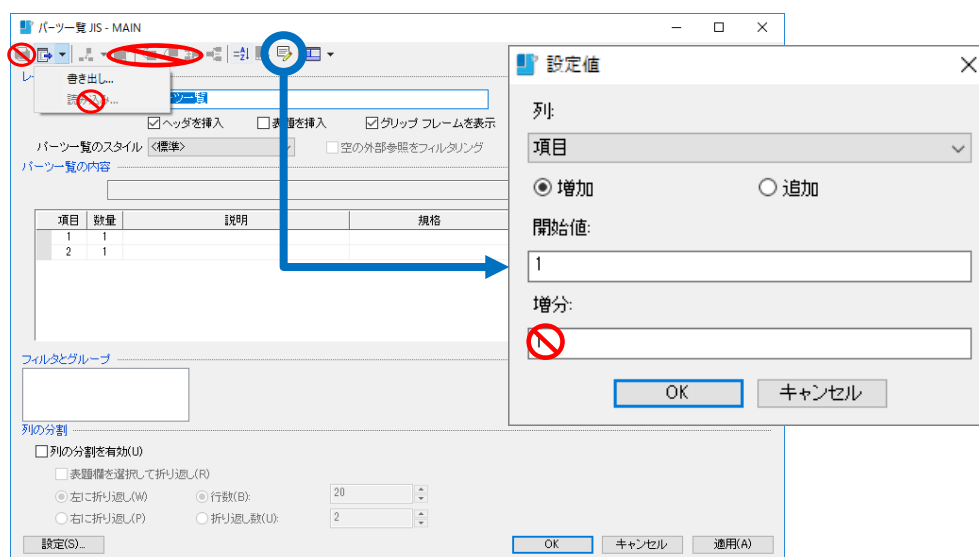


現在、設定が反映される機能は赤枠部分のみとなります。
その他の設定に関しては、現在対応中です。

パーツ参照・部品表関連のコマンドの機能制限

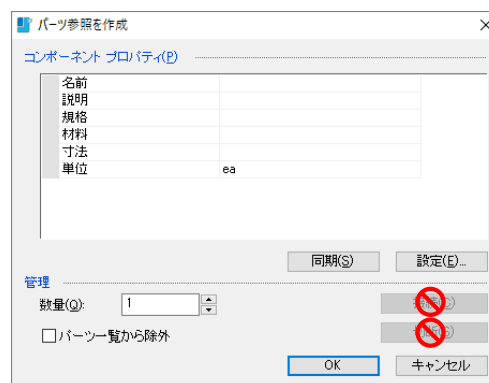
パーツ一覧

- ・ パーツ一覧ダイアログの増分量オプションは機能していません。
- ・ パーツ一覧ダイアログでの項目の分割が機能していません。
- ・ パーツ一覧ダイアログでのパーツ一覧リストの印刷機能に未対応です。
- ・ パーツ一覧ダイアログでのスプレッドシート等からの読込機能はありません。
- ・ パーツ一覧ダイアログで xls フォーマットのみパーツ一覧の書き出しが可能です。
- ・ パーツ一覧設定ダイアログの DSK ファイルの評価項目は未対応です。



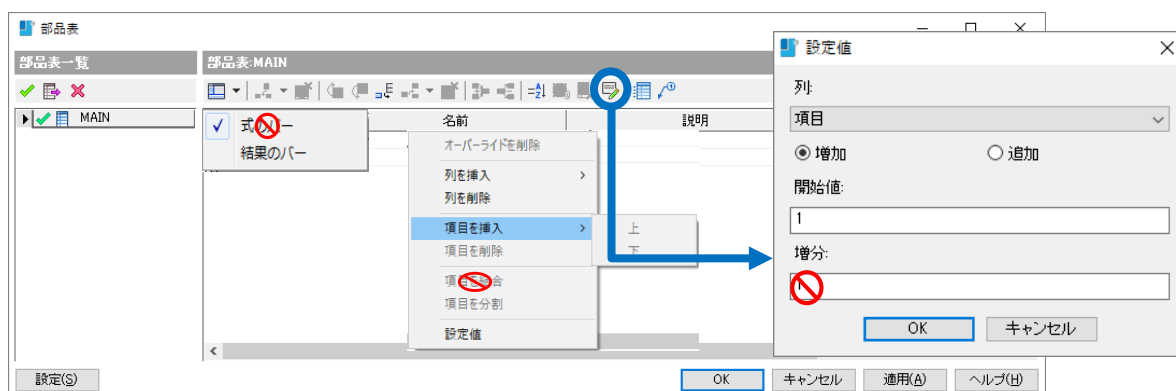
パーツ参照

- ・ パーツ参照のオプションでブロックを選んでいる時、パーツ参照がブロックの属性定義から情報を拾いません（ [GMREFSET] コマンドで対応しています ）。
- ・ パーツ参照ダイアログで、外部 dwg へのアタッチをする機能は未対応です。
- ・ パーツ参照ダイアログで、ブロックからパーツ参照を切斷することができません。



部品表

- ・ 部品表ダイアログのパーツ項目番号で増分量オプションは機能していません。
- ・ 部品表ダイアログでのスプレッドシート等からの読み込み機能はありません。
- ・ 部品表ダイアログで xls フォーマット以外でパーツ一覧の書き出しができません。
- ・ 部品表ダイアログの既定ビュー機能は未対応です。
- ・ 部品表ダイアログの折りたたみ機能は未対応です。
- ・ 部品表ダイアログの値を作成支援機能は未対応です。
- ・ 部品表ダイアログの部品表一覧パネルのレポートジェネレータ機能は未対応です。
- ・ 部品表設定ダイアログでのドラッグ&ドロップによるプロパティの追加・並べ替えは未対応です。



4. IJCAD Mechanical 英語版の使用における制限事項

ライブラリの制限

デフォルトで登録されている部品について

IJCAD Mechanical 英語版のライブラリには、日本語版にデフォルトで登録されているような、JIS 規格に準拠したねじ部品は登録されていません。

英語版でライブラリを使用する場合は、『[部品ライブラリの移行](#)』を参考に、部品を登録してください。

登録できる部品の制限

IJCAD Mechanical 英語版では、ライブラリの中に、日本語を含むライブラリデータを登録することができません。

ライブラリデータの日本語部分は、英語に変更して登録してください。

3. 修正済の不具合

IJCAD Mechanical 2017 (MechBuild 171020) にて修正された不具合は、以下のとおりです。

詳細
DIMSTYLE コマンドにて子寸法スタイル「引出線記入」の寸法値に設定している値が、LEADER コマンドで作成した引出線のマルチテキストに反映されない不具合。
GMAUTODIM コマンドで、ダイアログをキャンセルで閉じてでも寸法が作成されてしまう不具合。
GMAUTODIM コマンドで、[配置オプション] の [オプション] を指定するとエラーになる不具合。
GMAUTODIM コマンドでスナップ値を設定するとき、Enter キーでダイアログを閉じることができない不具合。
GMAUTODIM コマンドでオブジェクトを選択するとき、楕円を認識することができない不具合。
GMBALLOON コマンドで 1:1 以外の尺度のカスタムバルーンを作成したとき、作成されるバルーンが表示がおかしくなる不具合。
GMBALLOON コマンドでカスタムバルーンを作成したとき、文字の位置がずれてしまう不具合。
GMBALLOON コマンドでバルーンの様スタイルを既定に戻しても、バルーンのサイズが既定に戻らない不具合。
GMCHAM2D コマンドで面取りした線分をダブルクリックしても、面取りダイアログが起動しない不具合。
GMCHAM2D_DIM コマンドで注記ダイアログの [オブジェクトアタッチを編集] を実行した時、作図される寸法が AutoCAD Mechanical と異なる不具合。
GMCHAM2D_DIM コマンドで注記ダイアログの [引出線セグメントを編集] を実行した時、プロンプトに表示されるオプションの流れが AutoCAD Mechanical と異なる不具合。
ダイナミック入力相対座標に設定されているとき、下書き線を記入する位置が AutoCAD Mechanical と異なる不具合。
下書き線の画層にロックをかけても、下書き線を作成するコマンドを入力すると、ロックが外れてしまう不具合。
GMDETAIL コマンドで詳細図を作成すると、文字やマルチテキストまで拡大範囲に表示されてしまう不具合。
GMLAYER コマンドで、一般の DWG ファイルを使用したときに [画層定義を表示/非表示] オプションを行っても切り替わらない不具合。
容量の大きな図面で GMLAYERGROUP コマンドを起動すると、ダイアログの表示が遅い不具合。
システム変数 GMLGCOLORMODE の値を「0」にしても、以前に画層グループで設定した画層グループの色が反映されたままになっている不具合。
【英語版】 GMLIBRARY コマンドで、日本語のライブラリデータを読み込むと、フォルダ名が文字化けする不具合。
GMLIBRARY コマンドで、特定のオプションを使用して条件を満たしたときにのみ、ファイル名がパス名になってしまう不具合。
GMLIBRARY コマンドのライブラリダイアログで、IJCAD Mechanical で上書き保存した特定の図面が、プレビューに表示されない不具合。

【英語版】 GMLIBRARY コマンドで、日本語のライブラリデータを読み込むことができない不具合。
GMNOTE コマンドで、注記に「()」が入っているとき、2行目以降の文字が下線からはみ出てしまう不具合。
GMNOTE コマンドで作成した注記の位置を動かすときに、線を動かせる範囲が限定されている不具合。
GMOPTIONS コマンドのオプションダイアログで、新規のカスタム規格を作成したとき、規格要素の【断面図】と【詳細図】の設定が開けなくなってしまう不具合。
GMOPTIONS コマンドの面の指示記号設定ダイアログで、AutoCAD Mechanical で設定した【除去加工を許さない】オプションがオンになってしまう不具合。
GMOPTIONS コマンドのオブジェクトプロパティ設定ダイアログで、パーツ一覧の色に「ByLayer」を設定したとき、プレビューに反映されない不具合。
GMOPTIONS コマンドの部品表設定ダイアログ内のバレーンタブにて、既定のスタイルでカスタムを選んだ時、ファイルを参照することが出来ない不具合。
部品表から項目を削除したときに、パーツ一覧にグリップフレームが表示されてしまう不具合。
GMPARTREF コマンドで、【参照】オプションを使ってパーツ参照を作成したあと、参照元のパーツ参照を削除すると、部品表から部品情報が削除されてしまう不具合。
GMPARTREF コマンドで、【参照】オプションを使ってパーツ参照を作成したとき、部品表の数量に反映されない不具合。
GMPARTREF コマンドで、【参照】オプションを使って作成したパーツ参照を、パーツ参照の参照元として選択することができない不具合。
GMPARTREF コマンドの【パーツ一覧から除外】オプションが反映されない不具合。
GMPOWERDIM コマンドで、寸法を上書きして移動させるとき、直列に並んでいる他の寸法すべてが移動しない不具合。
ポリラインとブロックに対して、左右の辺に沿った形の寸法を作成することができない不具合。
寸法の寸法値のみを動かしたとき、寸法線が途切れる場合がある不具合。
特定の環境において、GMPOWERDIM_ANG コマンドで三点角度寸法を作成することができない不具合。
GMPOWERDIM_JOG コマンドで折り曲げ寸法を作成するとき、折り曲げ位置が動かした方向と逆に移動してしまう不具合。
Mechanical コマンドで入力した図形を GMPOWERRECALL コマンドで選択すると、正しくコマンドが呼び出されない不具合。
GMREFCLOSE コマンドで、参照編集を保存するときにブロックの基点を変更しても、変更が反映されない不具合。
GMSECTIONLINE コマンドの切断線ダイアログで、【シンボルを挿入】ボタンが効かない不具合。
GMSHIDE コマンドで、前景として外側輪郭線と内側輪郭線のあるオブジェクトを選択したときに、IJCAD Mechanical と AutoCAD Mechanical で隠線処理の結果が異なる不具合。
GMSHIDE コマンドの隠線処理ダイアログで、ツリー表示でレベルごとに選択しているオブジェクトがすべてフリーオブジェクトにまとめられている不具合。
GMTITLE コマンドで、ファイル名が表題欄に反映されない不具合。
GMUSERHATCH コマンドのハッチングダイアログに、全角入力された読点と数字が存在する不具合。
GMUSERHATCH コマンドで作られるハッチングに、尺度が考慮されていない不具合。
GMWELDSYM コマンドで、溶接タイプが I 形開先溶接のときに、表示がおかしくなる不具合。

オブジェクトを選択した状態で、-LAYER コマンドから画層を非表示にさせたとき、オブジェクトのグリッドが表示されたままになってしまう不具合。
LEADER コマンドで引出線を作成したとき、サブ寸法スタイルの寸法値の設定が反映されない不具合。
LENGTHEN コマンドにて、ダイナミックオプションでオブジェクトスナップ点を利かせると長さ変更ができなくなる場合がある不具合。
MTEDIT コマンドで、メモ帳からコピーした文字を貼りつけたとき、カーソル位置の文字フォントが、貼りつけた文字に適用されない不具合。
MTEXT コマンドで、txt ファイルから文字を貼り付けた後に追加で文字入力すると、フォントが変更されてしまう不具合。
特定の図面において、AutoCAD Mechanical 2013 形式に変換しても、開くと CAD が異常終了する不具合。
OPTIONS コマンドでサポートファイルのパスを編集すると、ワークスペースが初期状態に戻ってしまう不具合。
特定の図面にあるブロックを、特定の他図面にコピーすると、ブロックが変形してしまう不具合。
-PURGE コマンドで、ネストされた未使用ブロックが削除されない不具合。
-PURGE コマンドで纏めて名前削除を行ったとき、削除した要素の名前が表示されない不具合。
GMREFCLOSE コマンドでブロック名の変更をおこなうとき、既に存在しているブロック名を指定した場合、正しく変更が適用されない不具合。
REFEDIT コマンドで、名無しブロックを編集することができない不具合。
特定の図面で、DXF 形式保存すると、AutoCAD Mechanical で開いて保存する時にインターナルエラーが出る不具合。
WMF ファイルにイメージが出力されない不具合。
長さの精度を設定したテンプレートファイルを使って図面を新規作成したとき、精度が反映されていない不具合。